

# 「伊江島・北部視察」報告書

2020年11月20日（金）～21日（土）

沖縄経済同友会

（主催）観光委員会

（共催）環境・エネルギー委員会

# 視察報告書 目次

目次	
I. 目的および概要	・・・ P3
II. 視察団名簿	・・・ P3
III. 視察先報告	
(視察1日目)	
1. 伊江島空港視察	・・・ P4
2. ハイビスカス園視察	・・・ P5
3. 伊江島蒸留所視察	・・・ P5
4. いえじま家族工場視察	・・・ P6
5. THE FORCE (ザ・フォース) 視察	・・・ P6
6. オリオンビール工場視察	・・・ P7
(視察2日目)	
7. 世界自然遺産登録について講演会	・・・ P8
8. エコツーリズムについて講演会	・・・ P8
9. 恩納村 SDG s 未来都市について講演会・現場視察	・・・ P9
IV. 視察時の感染予防策	・・・ P10
V. 最後に (視察を終えて)	・・・ P11

## I. 目的および概要

観光委員会（共催：環境・エネルギー委員会）では、「伊江島・北部視察」を開催した。コロナ禍で大変な状況ではあるが、当会から県経済の活性化を目指し、「With コロナ時代における視察活動」のモデルになるよう、10月に開催した西表島視察に続き、出発前にPCR検査を導入し、視察申込者全員が検査を受け「陰性」を確認したうえで開催した。また、視察期間中も感染予防を徹底した。

当視察は、北部地域の可能性を探ることを目的としている。伊江島視察では、北部地域の経済活性化に貢献すると期待される「伊江島空港」について、村長の島袋様、伊江村議会長の渡久地様より概要説明いただき、現場視察を行った。続いて、伊江島の特産品について学ぶべく、伊江島土産として人気の高い伊江島ケックンの製造を行う「いえじま家族工場」視察や、当村の経済を約400年にわたり支えてきた伊江島産サトウキビのみを使って作られているラム酒について「伊江島蒸留所」視察を行い、ブランドストーリーや今後の企業展望について浅香工場長より話を伺い、さらには、グランピングジャパンとANAセールスが共同で手掛けた県内初の国内最大級ドームテント型宿泊施設「THE FORCE（ザ・フォース）」の視察を行った。また、本島北部視察では、国頭村長の知花様より同村の概要説明を行っていただき、世界自然遺産推進室長の田邊様より「世界自然遺産登録」についてご講演いただき、最後にホールアース自然学校 代表の小林様より、「エコツーリズムのこれまでとこれから」についてご講演いただいた。そして、実際にやんばるの自然を体感すべく、「比地大滝視察」を行った。名護市では、「オリオンビール工場」視察を行い、75BEER（名護ビール）の誕生秘話や企業展望について、さらに、恩納村では、「恩納村におけるSDGs未来都市」についてのご講演、恩納村漁業協同組合様のご協力により、「サンゴ再生事業」現場視察を行った。

## II. 視察団名簿

- ①常任幹事 前田 貴子 (株)ゆがふホールディングス 代表取締役 CEO 代行)
- ②常任幹事 棚野 浩 (株)OTS サービス経営研究所 代表取締役社長)
- ③常任幹事 小林 文彦 (川崎重工業(株)沖縄支社 支社長)
- ④常任幹事 鈴木 英男 (住友商事九州(株) 執行役員沖縄支店長)
- ⑤常任幹事 照屋 保 (株)りゅうぎん総合研究所 代表取締役社長)
- ⑥常任幹事 外間 晃 (株)アレックス 取締役会長)
- ⑦会員 畔上 修一 (西日本電信電話(株) 沖縄支店 支店長)
- ⑧会員 上原 実 (株)IHI 沖縄オフィス所長)
- ⑨会員 勝又 浩 (株)マイナビ 沖縄支社長)
- ⑩会員 川腰 藤雄 (明治安田生命保険相互会社 沖縄支社 支社長)
- ⑪会員 副田 智幸 (株)九電工 沖縄支店 執行役員支店長)
- ⑫会員 森山 正純 (株)RUHIA RYUKYU 代表取締役)
- ⑬会員企業 中真 心 (株)沖縄ダイケン 北部支店 支店長)
- ⑭会員企業 袋 光成 (三井物産(株)那覇支店 支店長)
- ⑮事務局 佐久本 卓弥(沖縄経済同友会 事務局長)
- ⑯事務局 宮里 眞子 (沖縄経済同友会 事務局研究員)

### Ⅲ. 視察先報告

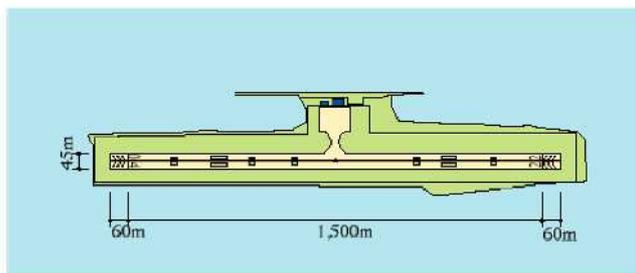
(1日目)

#### 1. 伊江島空港視察

島袋伊江村長、渡久地伊江村議会議長より、伊江村と伊江島空港の概要説明を受けたあと、今回特別に空港内に入り現場視察を行った。同空港は、昭和50年7月に開催された沖縄国際海洋博覧会関連事業として建設され、昭和50年7月20日滑走路1,500mで供用開始し、博覧会期間中は、伊江島-那覇間を1日1往復で運航していたが、海洋博覧会終了に伴い一時休止した。その後、南西航空や琉球エアークommューター、エアードルフィン、アイラス航空、エクセル航空等が運行した経緯はあるが、定期便に発展するには至っていない。今後、伊江島空港活用により北部地域の渋滞緩和が図られるとともに、北部観光の利便性向上が得られ、北部地域観光に限らず沖縄観光の更なる活性化が図られることから、北部法人会から北部振興会へ、北部唯一の既存空港の伊江島空港整備活用に向けて取り組むよう要請があり、北部12市町村で重要課題として推進する機運が高まっている。

#### 空港の諸元

項目	概要
種別	地方管理空港（旧第3種空港）
設置管理官	沖縄県
所在地	国頭郡伊江村
標高位置	北緯26°43'21" 東経127°47'13"
標高	72.5m
空港面積	358,356m <sup>2</sup>
滑走路	1620m×150m D級
滑走路	1,500m×45m LA-4 N38°52.00"E：真方位
滑走路	75m×18m
エプロン	7,700m <sup>2</sup> フコベラ機用 2バース
航空灯火	
航行援助施設	
運用時間	土曜日12：15～16：45（4.5時間） 日曜日09：15～16：45（7.5時間）



(引用：沖縄県ホームページより)



## 2. ハイビスカス園視察

花の観光施設について学ぶべく、友寄代表社員より同園の概要説明を受けた後、見学を行った。同園には南国を象徴するハイビスカスが1000品種以上栽培されている。平成16年に、静岡県「浜名湖花博」のイベントに出品していたハイビスカス200品種、500株を譲り受けたことが伊江島ハイビスカスの始まりである。伊江島は、日本ハイビスカス協会の本拠地である。同園は日本最大規模の施設であり、交配が行われ、伊江島オリジナルの新品種が誕生している。令和元年度の入園者数は8,434名であったが、令和二年度の入園者数は、新型コロナウイルス感染症の影響で、5月、9月の閉園が重なり647名に減少している。(11月20日時点)



## 3. 伊江島蒸留所視察

浅香工場長より、蒸留所内の説明を受けた。原料から製造まで全て伊江島、国産のラム酒である。世界で作られているラム酒のほとんどが、サトウキビから砂糖を作る際に砂糖にならなかった「廃糖蜜」が使用されるが、イエラムはサトウキビの搾り汁から作られている。この製法が用いられているのは世界でも5%未満で、イエラムは希少なラム酒である。イエラムサンタマリアには、オーク樽で2～3年熟成された「ゴールド」と、ステンレス槽で半年程度熟成させた「クリスタル」がある。オーク樽のふくよかな香りと丸みを帯びた口当たりのゴールドはストレートかロックで、さわやかな香りとクリアな口当たりのクリスタルはミントを浮かべたモヒートなどカクテルがおすすめとのこと。



## 4. いえじま家族工場視察

玉城代表取締役より同社事業説明を受けたあと、工場見学を行った。小麦生産に適した土壌と気候をもつ伊江島は、琉球王朝時代から小麦の一大生産地だったと伝えられている。同社は、伊江島小麦を使った沖縄そばやパン、お菓子を作っており、原料となるのは1等にランク付けされた高品質の伊江島小麦で、この小麦を精麦したあと、「気流粉碎機」という独自の機械にかけ、麦へのダメージが少ない形で細かく粉碎していく。その行程により、ミネラルなどの栄養価が豊富に含まれるふんわりとした小麦粉に仕上がる。



## 5. THE FORCE (ザ・フォース) 視察

新たな宿泊形態について学ぶべく、県内初の国内最大級ドームテント型宿泊施設 THE FORCE (ザ・フォース) の視察を行った。「魅力的な」を意味するグラマラスと、キャンピングを(キャンプ)を合わせた「グランピング」を全国で展開するグランピングジャパンとANAセールスが共同で手掛けた同施設は、高さ3.5m、広さ38平方mの客室には、冷暖房やWi-Fiを完備。シャワー・トイレ専用棟や、バーとリビングのスペースを含めた192平方mのウッドデッキを占有できる。視察当日はあいにくの雨であったが、正面には美しい砂浜と海岸が広がり、夜は離島ならではの星空を眺められるとのこと。宿泊は1日1組限定である。



## 6. オリオンビール工場視察

平良工場長より歓迎挨拶をいただき、儀間製造部長より「75BEER(名護ビール)の誕生秘話」についてご講演と工場見学を行っていただいた。75BEERは、ビールの街“名護”の人々の想いと、オリオンビールの職人のこだわりと技術が創り上げたプレミアムクラフトビールである。ビールの街“名護”にふさわしい本物の美味しいビールを新たに生み出すため、5年の歳月をかけて醸造技術を磨き上げ誕生した。名護湾の夕日を想起させる琥珀の液色と世界生産量が1%未満であるオーストラリア産の希少アロマホップ「ELLA(エラ)」と「ENIGMA(エニグマ)」を使用することで、爽やかな柑橘類を感じさせる香りが特長。ホップの使用総量は、「オリオンドラフト」と比較すると3倍。香りだけではなく、苦味もしっかり味わえる。その特長を活かすため、ホップ投入の最適なタイミングを見極め、手作業で行うことによってホップの味と香りを最大限に引き出している。



(2日目)

## 7. 世界自然遺産登録について講演会

知花国頭村長より国頭村の概要説明を行っていただき、田邊世界自然遺産室長より、「世界自然遺産登録について」をテーマにご講演いただいた。本島北部には、固有種や絶滅危惧種などの動植物が生息するやんばるの森がある。2019年2月に世界自然遺産登録に向けた推薦書をユネスコ世界遺産センターへ再提出し、同年10月にIUCN(国際自然保護連合)による現地調査が行われ、本来であれば今頃遺産登録になっていたであろう時期であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で委員会開催が1年延期となり、まだ登録されていない。同村では、世界自然遺産登録に向けたやんばるの森を守る取り組みについて、エコツーリズムの推進や、地域資源を守り次世代に継承できるよう認証ガイド登録を行っている。また、村民協力によるPR動画の作成や講演等の普及活動を行い、同村の魅力を村内外に発信している。適切な観光管理の体系と枠組みについて学ぶことができた。



(知花国頭村長)



(田邊世界自然遺産室長)

## 8. エコツーリズムについて講演会

ホールアース自然学校沖縄校の小林代表より、「エコツーリズムのこれまでとこれからについて」ご講演いただいた。ホールアース自然学校とは、沖縄のさまざまな自然界で活動している「自然体験型の環境教育事業所」である。実体験主義・自然観の回復をテーマに、様々な自然体験プログラム・指導者研修・自然体験エコツアー・修学旅行、サマーキャンプなどの企画、コーディネート、実施を行っている。環境教育やファシリテーション分野で普及しているA4用紙を使用したKP法という手法を用いた講演スタイルで、エコツーリズムの歴史や今後の展望、持続可能な観光、人材育成についてご講演いただいた。

小林氏は、「これまでエコツーリズムは、一つのアクティビティ(プログラム)として成長してきた。エコツーリズムとは、旅行会社や宿泊施設等が活躍するマストツーリズムのようにもっと大きなツーリズムでなければならない。日本では法律の問題等があるが、観光業界全体に広げ、真のエコツーリズムを盛り上げていきたい。」とご講演いただいた。



その後、県内最大の滝である比地大滝周辺の視察では、生物や植物の見学を行い沖縄独自の自然の魅力、生態系について知見を深めることができた。比地川に沿って遊歩道や吊り橋が整備されており、途中、河川の中を歩くことができた。国立公園第二種特別地域に位置し、世界遺産候補地の緩衝地帯である。入口にはキャンプ場が設置されており、年間3万2千人が訪れる。



## 9. 恩納村 SDG s 未来都市について講演会・現場視察

恩納村役場 当山企画係長より、ご講演いただいた。同村は、2019年7月に持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた優れた取り組みを行う都市として、「SDGs 未来都市」及び「自治体 SDGs モデル事業」に選定された。「サンゴの村宣言」を行っており、サンゴを中心とした自然環境にやさしい地域づくりの取り組みが、SDGs の理念と共通する点が多いことから、相乗効果を図るため SDGs によるプロジェクトを推進している。今後は、国とも連携しながら提案内容をさらに具体化し、3年間の計画を策定し実施することとしている。

講演会終了後、恩納村漁業協同組合のご協力により、前兼久漁港よりガラスボートに乗船しサンゴ再生事業の現場視察を行った。



- ③出発前にPCR検査を受け、陰性を確認した上で参加。
- ④視察期間中は、毎朝検温の実施、体調チェックを行った。
- ⑤視察中は、手洗い、うがい、アルコール消毒、マスク常時着用、咳エチケットの徹底。
- ⑥宿泊部屋は、1人1部屋とし、食事の際には、席の間隔を広くとり配席した。
- ⑦バス乗降時、アルコール消毒の徹底。座席の間隔は一定の距離を保ち、車内の空調整備を外気導入に切り替えて走行した。

※集合写真時においては、マスクを外し手短かに撮影を行いました。

#### **【PCR検査について】**

県内でPCR検査にご尽力をいただいております、レキオ・パワー・テクノロジー株式会社様（那覇市西 1-20-13 たまきビル 3 階）、西町クリニック様（那覇市西 3-4-1）に、PCR検査のご協力をいただきました。

## **V. 最後に（視察を終えて）**

本視察においては、当会会員企業はじめ多くの方に様々な便宜をお取り計らい頂き、非常に素晴らしい講演会や体験をさせていただきました。関係者の皆様にはこの場を借りて御礼申し上げます。

以 上